

ビジネスプロデュースカ 養成ラボ2020

振り返りレポート (第1回)

2020年度のビジネスプロデュースカ養成ラボ「B-LABO」が始まりました。今年度も「ゼミナール編」「早わかり講座編」の2コースを開講しますが、新型コロナウイルスの影響で、Microsoft Teams を利用し、すべての回をオンラインで開催することになりました。

B-LABO 第1回は、2020年9月4日(金)に開催されました。

今回のオンライン開催は、Microsoft Teams を使います。配信側は、講師をとらえるカメラ画像、講師のパソコン画像の2つを中心とします。また画像配信にあたって、スイッチャーなどの機材が準備されました。

Microsoft Teams の作業グループである「チーム」は“B-labo2020 ゼミナール”、“B-labo2020 ゼミナールグループ1”、“B-labo2020 ゼミナールグループ2”、“B-labo2020 早わかり”の4つを設定し、受講者のコース別に「チーム」へゲストとして招待する方式をとりました。



◎ゼミナール編 第1回

日時：2020年9月4日(金) 10:00~15:30

会場：オンライン(Microsoft Teams)

内容：ガイダンス、コモディティ化について

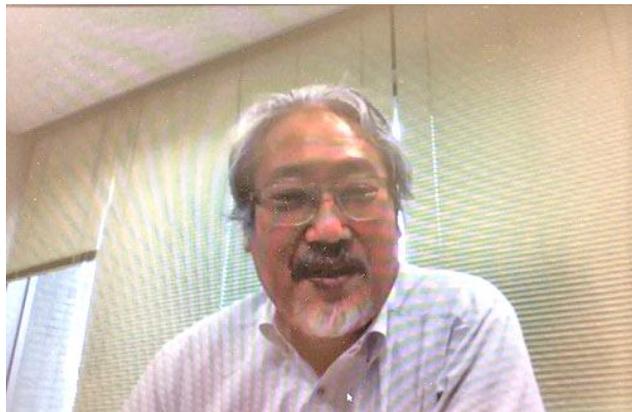
参加者：10名

(1) 江田講師から、オンライン開催の説明とMicrosoft Teams の使用方法のガイダンスがありました。

- 参加者はチームの会議に“参加”します。
 - まず全員が“B-labo2020 ゼミナール”に参加します。
 - グループワークの際には“B-labo2020 ゼミナール”から一度退出し、都度指定されるグループ構成に従って、“B-labo2020 ゼミナールグループ1”もしくは、“B-labo2020 ゼミナールグループ2”に参加します。
- 勤務先からのアクセスであることを鑑みて、昼食時間は勤務先にあわせることとしました。昼食の時間が各社まちまちであることを考慮して、昼食時間と課題をこなしていただく時間を合わせて11:30から13:00までとしました。

(2) フォトンバレーセンターの伊東センター長から、開催にあたって挨拶がありました。

まず参加者と、参加を許可していただいた参加者企業へのお礼がありました。次いで B-LABO 開催の説明と、本年度も 2019 年度内容を継承することについて話がありました。



(3) 江田講師より、今年度の開催にあたってのガイダンスがありました。

- 午前の部の後半に、自己紹介をしていただくことが予告されました。

- セミナーを受けるにあたっての注意、ビジネスについての考え方の確認、B-LABO のアウトカムについてなどが説明されました。「参加にあたり批判的な態度からは得られるものが少ない」と指摘があり、この B-LABO では積極的に褒める態度をとることが提案されました。

- 言葉の定義について、特に“問題”と“課題”の単語の使い方について、説明がありました。“問題”は英語では problem、“課題”は英語では issue と置き換えられます。問題は提起するもの、解決するもの、過去から現在までのことです。課題は遂行するもの、進捗があるもの、現在から未来に向かうものです。

- 参加者に提出いただいたエントリーシートとキーワードの分析結果の一部が示されました。

- 参加者番号について話がありました。参加者個人に割り振られた参加者番号は、昼休み時間に事務局からメールで通知しました。



(4) 参加の動機、参加の目的などを含めて、参加者各自から自己紹介がありました。

(5) 昼食時の課題が示されました。午前うちに電子メールにて事務局から配信されたものです。今回は、コモディティ化に関する 20 ページを越える論文でした。昼食の間にそれを読み、午後のグループワークに備えることが指示されました。

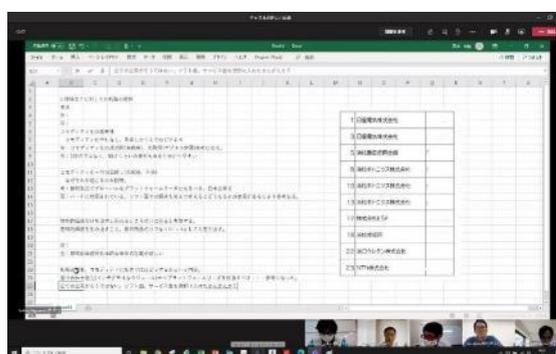
(6) 11:30 から 13:00 まで、昼食の時間、プラス、課題の個人検討の時間としました。

(7) 13:00 から午後の部が開催されました。

- 最初にグループでの検討内容とグループ発表について案内がありました。
- 2つのグループに分かれて議論しました。グループ分けはエントリーシート記述の分析に基づいて、グループ1は 2003、2008、2017、2018、2023 の5名。グループ2は参加者番号 2001、2005、2010、2013、2022 の5名で構成しました。
- グループワークでは、最初に発表者を決めて、次の点について議論しました。
 - コモディティ化について論文の主張すること
 - 参考となること
 - 反対と思えること など



グループ分け



グループワーク(グループ1:エクセル画面を共有しながら討議)

(8) 休憩をはさんで、ゼミナール編チームに戻り、グループごとに検討内容を発表しました。

- 発表者が、検討の経緯を紹介して、検討した内容を発表し、次いで同じグループメンバーから補足がありました。全員が発表することを要請されました。
- グループ2、グループ1の順で発表しました。



グループワーク(グループ2:メンバーによる活発な議論)

(9) それぞれのグループからの発表後、他のグループの発表の優れていた点について、グループワークを行いました。10分程度のワークの後、ゼミナール編チームに戻って、他のチームの優れた点について、検討結果を発表しました。

(10) ゼミナール編のまとめを行い、第1回目の講座を終了しました。

- 昼食時間の課題に対して、個人の検討、グループワークでの検討、他のグループの発表を受けての検討、と3回の検討を進めたことについて、個人の検討からの自らの考えの変化を、きちんと気付くことが重要であると説明がありました。

(11) 講座終了後、宿題として、今回の内容について振り返りを記述いただくよう、「B-labo2020 ゼミナール」チームに江田講師から以下のとおりトピックの投稿がありました。

以下について、この投稿欄にご記入ください。

- 1) 今回のグループワークでの気づき(ファインディングと言いました)の確認。
特に、議論前の自分の意見と、議論後の意見の違いについての気づき。
- 2) 内容でわかりにくかった点があれば、教えてください。
- 3) 運営上、改善を希望する点があれば、書いてください。
- 4) クラスメイトの振り返りの書き込みに対する、前向きなコメントを一つ以上かいてください。
- 5) その他、感想やコメントなど、ありましたら。

◎早わかり講座編 第1回

日時：2020年9月4日(金) 16:00~17:00

会場：オンライン(Microsoft Teams)

内容：ビジネスモデル早わかり

参加者：23名



(12) 16:00より、早わかり編が開催されました。事務局から参加者に送信されていた資料をもとに、岡田講師からビジネスモデル早わかりと題して講義がありました。



(13) 講義後に、内容について質疑がありました。質問はMicrosoft Teamsを通してマイクでやりとりされました。活発な質疑が展開されました。

(14) 講座終了後、宿題として、今回の内容について振り返りを記述いただくよう、「B-labo2020 早わかり」チームに、講師よりトピックの投稿がありました。

以下について、この投稿欄にご記入ください。

- 1) 今回の気づきの確認。
特に、受講前の自分の意見と、受講後の意見の違いについての気づき。
- 2) 内容でわかりにくかった点があれば、教えてください。
- 3) 運営上、改善を希望する点があれば、書いてください。
- 4) その他、感想やコメントなど、ありましたら。

以上で、B-LABO 第1回を終了しました。

ビジネスプロデュース力養成ラボ2020 (B-labo)

2020/9/4 (金)

第1回 実績

Web(Microsoft Teams)

ゼミナール編	新製品・サービス開発1
9:45 ~ 10:00	接続開始
10:00 ~	接続確認 ガイダンス 講師, 事務局紹介 昼食時間などの相談 メールとTeams使い分け
~ 10:40	フォトンバレーセンター長 ご挨拶
10:40 ~ 11:30	発表参加の動機 (個人ごと) 昼の課題配布
11:30 ~ 13:00	昼休み (課題遂行)
13:00 ~	コモディティ化に関する論文について個人検討
~ 14:15	コモディティ化に関する論文についてグループ討議
14:15 ~ 14:30	休憩
14:30 ~ 15:15	コモディティ化に関する論文についてグループ発表
15:10 ~ 15:30	他グループの発表に関するコメント検討, グループ発表
15:30 ~ 16:00	休憩 (接続確認)
早わかり講座編	ビジネスモデル早わかり
16:00 ~	はじめに
~ 16:50	講義, ディスカッション
16:50 ~ 17:00	質疑応答, コメント